

# 日本生活科・総合的学習教育学会 第31回 全国大会 広島・三原大会 (オンライン&オンデマンド開催)

最終案内

日本生活科・総合的学習教育学会会長 朝倉 淳  
第31回全国大会広島・三原大会会長 北川千幸  
実行委員長 永田忠道

## 大会テーマ

### 世界の過去・現在から、こどもたちの未来を探究する

世界が激動の中にあり、先が見通せない中で、毎日の教育実践をどう展開し、これからの教育をどう構築すればよいのでしょうか。皆様とともに研究を交流し議論を深め未来を探究し展望していきたいと考えます。

主催	日本生活科・総合的学習教育学会
後援予定	日本教育大学協会 生活科・総合的学習部門 広島県教育委員会 広島市教育委員会 三原市教育委員会 広島県小学校教育研究会生活科・総合的な学習の時間部会 広島市小学校教育研究会生活科・総合的な学習の時間部会
開催日	2022(令和4年)6月25日(土)・26日(日) (*1) (*2)
開催地	広島県三原市からのオンライン&オンデマンド開催 広島大学附属三原幼稚園・小学校・中学校, 三原市立三原小学校, 広島県立三原高等学校
日程	6月25日(土)午前: オンライン&オンデマンドでの保育・授業研究協議会 (*1) 6月25日(土)午後: 電子掲示板によるオンデマンドでの自由研究発表の開始 (*2) 6月26日(日)午前: オンラインでの課題別研究発表 6月26日(日)午後: オンラインでの全体会(保育・授業研究各校園提案, シンポジウム) (*1) 協議会のオンデマンド配信は6月18日(土)から開始予定 (*2) 自由研究発表は6月25日(土)午後~7月3日(日)まで開催

**広島・三原大会への参加申込方法は次ページを参照 (申込締切5月14日(土))**

## 第31回 全国大会（広島・三原大会） オンライン&オンデマンド開催

### 参加申込と大会への参加方法のご案内

#### 手順1 最初に大会の参加費（3,000円）をお振り込みください。（締切5月14日（土））

振込先 銀行名：ゆうちょ銀行 店名：一三九 店番：139 預金種目：当座 口座番号：102384  
（口座名義：広島県生活科・総合的学習教育学会）

- ・郵便局の窓口や銀行の窓口で振込手続きをされると手数料が割高になるのでご注意ください。
  - ・そのため、最寄りのゆうちょ銀行ATMもしくは他銀行ATMからの振込をおすすめします。
  - ・郵便局に備え付けの青色の払込取扱票を使用して、ゆうちょ銀行のATMからの振込も可能です。
  - ・その際には記号番号「01340-8-102384」と金額と払込人を正確にご記入の上で振込ください。
  - ・振込いただいた用紙や記録などは大会終了までお手元に保管ください。
- \*「手順1」だけでは申込は完了しません。必ず次の「手順2」まで手続きください。

#### 手順2 次に大会の参加申込フォームに必要事項をご入力ください。（締切5月14日（土））

<https://forms.gle/sPtBWEfUbxmuwotn8>

- ・上記のURLもしくは右のQRコードから参加申込フォームへ進み、必須の全ての項目を正しく入力ください。
- ・フォームへ入力して送信ボタンを押すと参加申込登録完了です。
- ・Googleから自動返信メールが配信されます。大会実行委員会からの個別メール等は致しませんので、Googleからの自動返信メールをプリントアウトして大会終了までお手元に保管されることをおすすめします。



#### \* 大会の一週間前までには発表要項等が郵送で届きます。

- ・発表要項とオンライン&オンデマンドの接続情報等は、大会一週間前の6月17日（金）までに参加申込フォームへ入力された住所宛に郵送でお届けいたします。
- ・大会一週間前の6月17日（金）までに郵送物が届かない場合には、下記のURLもしくは右のQRコードのお問い合わせフォームへお知らせください。

<https://forms.gle/akhWoznjVPm59kfU8>



#### \* 大会の詳しい参加方法は郵送で届く発表要項等を参照ください。

今後も日程や内容に変更が生じる可能性もあります。

[広島・三原大会の最新情報は大会サイトをご参照ください。→](https://sites.google.com/view/seisouhp/)

(<https://sites.google.com/view/seisouhp/>)



## 第31回 全国大会（広島・三原大会） オンライン&オンデマンド開催

### 内容のご案内

#### I 保育・授業研究協議会

オンデマンドで学校園の教育実践研究や保育・授業等について提案します。

提案に基づいて、オンラインで質疑応答や協議を行います。

提案資料のオンデマンド配信は6月18日(土)～6月27日(月)を予定(変更の可能性もあり)

研究協議会のオンライン配信は6月25日(土)午前11:00-12:00(接続情報は参加申込者へ後日郵送します)

	保育・授業研究協議会 分科会
協議会 1	【保育・生活科】 広島大学附属三原学校園 幼小接続期(幼稚園・1年・2年)分科会
協議会 2	【光輝(総合的な学習の時間)】 広島大学附属三原学校園 転換期(3年・4年)分科会
協議会 3	【光輝(総合的な学習の時間)】 広島大学附属三原学校園 小中接続期(5年・6年・7年(中1))分科会
協議会 4	【光輝(総合的な学習の時間)】 広島大学附属三原学校園 義務教育完成期(8年(中2)・9年(中3))分科会
協議会 5	【生活科】 広島県三原市立三原小学校 低学年分科会(1年・2年)
協議会 6	【総合的な学習の時間】 広島県三原市立三原小学校 中学年分科会(3年・4年)
協議会 7	【総合的な学習の時間】 広島県三原市立三原小学校 高学年分科会(5年・6年)
協議会 8	【総合的な探究の時間】 広島県立三原高等学校 高等学校分科会

## 2 課題別研究発表

今日的な課題や継続する課題を取り上げ、7分科会でオンラインによる研究発表や協議などを行います。

	分科会テーマ	コーディネーター	発表者等
課題研究1	【令和の日本型学校教育の実現】 学校全体で子供たちの資質・能力を育成するために、生活科・総合的な学習(探究)の時間を中核にして、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をどのように実現するか	四ヶ所 清隆 (福岡県久留米市教育委員会) 猪股 亮文 (宮城教育大学)	寶來 生志子 (神奈川県横浜市立恩田小学校) 三島 晃陽 (岐阜県郡上市立郡南中学校) 石田 有記 (文部科学省)
課題研究2	【各校園や地域の創意工夫を生かした幼保小の架け橋プログラムの開発・実践】 幼児教育と小学校低学年教育の架け橋をどのように具現化するか	宗形 潤子 (福島大学) 無藤 隆 (白梅学園大学)	佐藤 みちる (宮城教育大学附属幼稚園) 青木 博子 (新潟県新潟市立沼垂幼稚園) 鈴木 美佐緒 (宮城県仙台市立荒町小学校)
課題研究3	【生活・総合における指導と評価】 生活科と総合的な学習(探究)の時間における資質・能力をどう評価するか -「学びに向かう力」を中心に-	南 正敏 (神奈川県秦野市立上小学校) 中野 真志 (愛知教育大学)	菅沼 得理香 (千葉県流山市八木南小学校) 山田 敦 (京都府京都市立下京中学校) 木村 智 (青森県六ヶ所村教育委員会)
課題研究4	【GIGA スクール構想下での ICT の効果的活用による探究の広がり・深まり】 生活科・総合的な学習(探究)の時間における ICT 活用の可能性	石井 真澄 (大分県大分市立判田小学校) 泰山 裕 (鳴門教育大学)	小畑 晃一・石堂 裕 (長崎大学附属小学校・兵庫県たつの市立龍野小学校) 若村 健一 (埼玉県戸田市教育委員会) 本田 裕紀 (熊本県熊本市立五福小学校)
課題研究5	【探究の高度化・自律化】 小中高学習指導要領全面实施の中で、探究の高度化・自律化をどのように進めるか	松田 淑子 (日本大学) 齋藤 博伸 (文部科学省)	中村 祐哉 (広島大学大学院人間社会科学研究科/ 広島県熊野町立熊野第一小学校) 村松 真理 (大分県教育委員会) 藤島 尚子 (北海道道立富川高等学校)
課題研究6	【STEAM 教育の中核としての総合的学習・探究】 STEAM 教育の中核としての総合的な学習(探究)の時間の在り方	廣瀬 志保 (山梨県立笛吹高等学校) 加藤 智 (愛知淑徳大学・文部科学省)	久保 祐貴 (スイス チューリッヒ日本人学校/ 大分県大分市立明治北小学校) 戎井 淳 (高知県立山田高等学校)
課題研究7	【開催地枠】 命をつなぐ平和教育・防災教育-歴史に学び次代を創造する生活科・総合的学習-	鴛原 進 (愛媛大学) 小原 友行 (福山大学)	岩本 和貴 (広島市立梅林小学校) 高田 斉尚 (広島市立広瀬小学校)

### 3 シンポジウム

生活科・総合的学習では、直接的な関わりとして現実空間での実体験を大切にしてきました。今日、デジタル化が急激に進み「遠隔授業」「仮想現実」「人工知能」などが現実となる中で、「体験」をどう考えればよいのでしょうか。さまざまな立場や角度から検討し、未来を展望します。

[テーマ]		
デジタル・AI時代の「体験」をどう考えるか ―生活科・総合的学習の過去・現在・未来―		
シンポジスト(五十音順)	元広島大学附属三原小学校 比治山大学 関西大学 國學院大學	石井 信孝 上之園 公子 黒上 晴夫 田村 学
コーディネーター	学会長 安田女子大学	朝倉 淳

### 4 自由研究発表

電子掲示板上で、広く生活科や総合的学習に関する理論研究や実践研究などを発表し、オンデマンドで視聴します。発表数が多いためグループを編成(1グループは3～5本の発表)し、掲示板上で質疑応答や意見交換などを行うとともに、1グループにつき1名のコメントーターが整理や意味付けなどを行います。

(発表者名が複数の場合、○印は筆頭発表者)

グループ	発表者	発表題目	コメントーター
1	01-1 宗形潤子(福島大学)	小学校生活科における砂遊び実践が子どもと教師に与える影響	神永典郎 (白百合女子大学)
	01-2 竹内元(宮崎大学大学院)	生活科授業実践における「遊び」と「学び」	
	01-3 齊藤和貴(京都女子大学)	生活科における食育の取り組み	
	01-4 木村名月代(相模原市立麻溝小学校)	探究のプロセスを積み重ね、質の高い学びをめざす～「地域のもをを食べる仲間のWAを広げよう」の実践から～	
2	02-1 大田清美(奈良市立六条小学校)	LoQで再現!わがまち六条の魅力!―地域企業と連携した、第2学年生活科「つたえ合おう町のすてき」の取組より―	川邊亮子 (相模原市立青和学園)
	02-2 ○箱根正斉(西宮市立北六甲台小学校) 藤本勇二(武庫川女子大学)	生活科における個別最適な学びの実現―「野菜元気2年1組GOGOGO!」の実践より―	
	02-3 福田耕平(宇都宮大学共同教育学部附属小学校)	経験を生かし、対象への関わりを楽しむ生活科の授業 公共施設の利用単位を通じた実践事例	
	02-4 金津琢哉(東海学園大学)	生活科と特別活動等との統合的な学習指導―CASEL5を踏まえた事例研究―	
3	03-1 ○村川雅弘(甲南女子大学) 八釘明美(知多市立旭東小学校)	オンライン集中講義「生活科指導法」の工夫と成果～協働学習支援ツールによる単元開発を中心に～	高橋泰道 (島根県立大学)
	03-2 植木岳雪(帝京科学大学)	雑草についての大学生の意識:小学校生活科・理科の指針として	

	03-3	○唐沢実（三条市立笹岡小学校）竹内香奈（三条市立笹岡小学校）	ヤギと学ぶ学校	
	03-4	沼澤清一（東京福祉大学）	サクラの新しい芽は、いつ、どこに作られるかーソメイヨシノの観察を通してー	
4	04-1	鈴木康平（埼玉大学教育学部附属小学校）	振り返り表現する活動の充実を図り、気付きの質を高める指導の工夫～2年生「やさいよ 大きくなあれ」の実践を通して～	梶川友恵 （横須賀市立津久井小学校）
	04-2	○松井香奈（大阪市立吉野小学校）藤本勇二（武庫川女子大学）	思いや願いを実現する中で気付きの質を高める生活科の授業	
	04-3	蛭田慶太（相模原市立横山小学校）	『人・もの・こと』のつながりをもとに、子どもたちが主体的に気づきの質を高める生活科学習～「いきものとなかよし」の実践から～	
5	05-1	園山せいか（広島大学大学院）	他者を受け入れて行動する力を育む生活科授業の検討	加納誠司 （愛知教育大学）
	05-2	内海勝也（兵庫教育大学附属小学校）	レジリエンスを育成する生活科授業実践ー第2学年「秋まつりをしよう」を中心にー	
	05-3	長谷川剛（姫路市立白鷺小中学校）	書くことに意味を感じ、成長を自覚する生活科の単元づくり	
	05-4	加藤智（愛知淑徳大学）	総合的な学習の時間が育成する資質・能力に関する考察ー認知的能力・非認知的能力の視点からー	
6	06-1	浦郷淳（長崎国際大学）	生活科における描くことに関する一考察	永野理英子 （横浜市立東希望が丘小学校）
	06-2	○岩本哲也（大阪市立味原小学校）溝邊和成（兵庫教育大学）坂田紘子（大阪市立東桃谷小学校）平川晃基（大阪市立古市小学校）	小学校「総合的な学習の時間」における表現ツールに関する実践的試み～社会貢献意識の発露をめざすピクトグラムの活用～	
	06-3	山下智子（名古屋市立上野小学校）	思考をつなぐ生活科学習ー思考と表現を繰り返す学習活動を工夫してー	
	06-4	山田知香（池田市立池田小学校）	子どもの主体的な探究を促すための有効な手立て	
7	07-1	溝上敦子（西日本短期大学）	佐世保市における保幼小連携の取組についての一考察ー幼児教育センターの研修機能を基盤としてー	大室道夫 （藤女子大学）
	07-2	大山夏生（愛知教育大学・岐阜聖徳学園大学）	スタートカリキュラム事前研修プログラムの開発	
	07-3	三原茂（富山市立大沢野小学校）	若手教員の生活科・総合的な学習の時間の授業づくりにおける力量形成について	

	07-4	○鈴木美穂（寒河江市立寒河江小学校）野口徹（山形大学）	自ら地域と関わり、伝統を受け継ごうとする子どもの育成～新採教諭がどのように地域素材を単元化したのか～	
8	08-1	飯田真也（聖隷クリストファー大学）	遊びと学習を身体感覚でつなげる大学での幼小接続単元構想の報告と保育士による評価	木村光男 （常葉大学）
	08-2	鬼塚拓（宮崎大学教育学部附属中学校）	絵本を活用した教員研修ワークショップの実際－『おべんとうバス』と『てん』を題材として－	
	08-3	○池田明子（福山市立大学）上田紋佳（北里大学）	幼小接続期における子どもの主体性の捉え－小学校教師によるインタビューを通して－	
9	09-1	仙田考（田園調布学園大学）	保育者養成校における遠隔授業（「保育内容環境」「生活」等）での自然とのふれあいの取り組み～幼保小連携とのかかわりを踏まえて	飯田真也 （聖隷クリストファー大学）
	09-2	井村礼恵（東京学芸大学）	「領域環境」から考える「生活科」との連携・接続について（その2）～環境教育の視点から～	
	09-3	安藤浩太（昭島市立光華小学校）	スタートカリキュラムから教科カリキュラムへの円滑な接続～教科の対象への自覚化を通して～	
	09-4	梅田裕介（中部学院大学）	生活科から見た保幼小連携	
10	10-1	行田臣（豊川市立御津南部小学校）	戦後新教育期における「はいまわる学習」の実際－豊川市立八南小学校の分析－	前田一男 （立教大学）
	10-2	牧野治敏（大分大学）	本学会の全国大会発表タイトルの傾向と推移	
	10-3	○白井克尚（愛知東邦大学）久野弘幸（中京大学）	総合的な学習の時間の登場と教師による「学びの支援」の創出－愛知県東浦町立緒川小学校の「個別化・個性化教育」実践の展開に着目して－	
	10-4	植木岳雪（帝京科学大学）	総合的な学習の時間における地域学習のテーマとコンテンツ：小学校教員を目指す大学生の課題の分析	
11	11-1	原田三朗（四天王寺大学）	人と人、人と場所とをつなぐ『私の居る場所写真展』への取組	藤井千春 （早稲田大学）
	11-2	西野雄一郎（愛知教育大学）	J.L.メリアムによるミズーリ大学附属初等学校におけるカリキュラム開発に関する研究－「手仕事」に着目して－	
	11-3	中村仁志（岡崎女子大学）	共同体中心を志向したデューイ実験学校における社会生活の学習／社会生活としての学習	

	11-4	藤上真弓 (山口大学)	総合的な学習の時間に求められる「深い学び」に関する研究	
12	12-1	藤原靖浩 (関西福祉科学大学)	総合的な学習の時間における防災を軸にした学校と地域の連携—中学校における「トライやる・アクション」の事例から—	和田精吾 (富士市教育研修センター)
	12-2	福島信也 (森ノ宮医療大学)	総合的学習『中学生と高齢者の絆を深める』での認知症の人も含む高齢者への意識について～中学生「認知症サポーター養成講座」のアンケートに着目して～	
	12-3	大谷知二 (豊根村立豊根中学校)	中学生が“本気”で働く豊根村の総合的学習～距離と時間を縮めるクラウド活用～	
	12-4	○伊藤慎悟 (上智大学) 松倉紗野香 (伊奈学園中学校)	企業主導型「総合的な学習の時間」の効果検討—中学校における障害者の靴づくりを教材とした事例を通して—	
13	13-1	石堂裕 (たつの市立新宮小学校)	GIGA スクール環境を活かした「真正の学習」の授業デザイン～6年「わがまち見聞録」の実践より～	嶋崎修 (山梨市教育委員会)
	13-2	篠原紘子 (相模原市立大野台小学校)	生活科の合科的・関連的な指導における ICT 機器の活用について	
	13-3	嶋田陽介 (北海道教育大学附属函館小学校)	ICT 機器を活用し、気付きの質を高める教師の支援～あさがお栽培の実践から～	
	13-4	○小原広士 (北海道教育大学附属旭川小学校) 藤川聡 (北海道教育大学)	総合的な学習の時間における情報活用能力の獲得を目指して～第4学年「常磐公園調査隊」の実践を通して～	
14	14-1	萩原浩司 (皇學館大学)	脱炭素社会を目指す生活科のカリキュラム構想	土井妙子 (金沢大学)
	14-2	藤原一弘 (愛媛大学)	ESD, SDGs の視点で構成する総合的な学習の時間における評価に関する一考察—タブレットを使った評価の実践報告	
	14-3	藤原達矢 (加東市立滝野東小学校)	持続可能な総合学習の単元をめざして—小学校6年 地域を考え、地域を知る単元の開発—	
	14-4	○藤本勇二 (武庫川女子大学) 松井香奈 (大阪市立吉野小学校)	総合的な学習の時間におけるエコフィードを取り上げた授業実践の可能性	
15	15-1	福田晃 (金沢大学附属小学校)	児童の問題発見・解決能力を育成するオーセンティックな社会協働実践～コロナ禍でも絆を深めることができる新たなカタチの国際交流とは～	

	15-2	丸中美来 (岡崎市立常磐小学校)	主体的に考え、協働的に追求し、行動する子どもの育成—アートマイル国際協働学習プロジェクトを通して—	徳山敬倫 (海老名市立有鹿小学校)
	15-3	長澤拓也 (川崎市立橘小学校)	子どもたちが主体的に取り組み、自己実現を目指した総合的な学習の時間～「モザイクアート」を学習材とした実践より～	
	15-4	○塩飽隆子 (一般財団法人ジャパンアートマイル) 塩飽康正 (一般財団法人ジャパンアートマイル)	世界の多様な他者と協働する探究学習の課題と展望	
16	16-1	○高野拓樹 (京都光華女子大学) 乾明紀 (京都橘大学)	「わかる」と「できる」が拡大し、キャリアが展望できる「チーム探究」に関する研究 第三報：生徒が探究学習に抱くイメージと自分の将来に対する意識の関係	赤松理 (川崎市教育委員会)
	16-2	○八弮明美 (知多市立旭東小学校) 中川斉史 (上板町立高志小学校) 石堂裕 (たつの市立新宮小学校) 八波田みゆき (徳島市新町小学校) 村川雅弘 (甲南女子大学)	総合や各教科等の学びが夢をカタチに～「子どもアイデアコンテスト」ファイナリストへのインタビューから～	
	16-3	山岸美穂 (相模原市立夢の丘小学校)	成長の喜びを子どもが実感できる単元づくり～「もうすぐ2年生」の実践を通して～	
	16-4	嶋田恭子 (佐賀市立本庄小学校)	自らつくることを楽しむ子どもが育つ総合的な学習の時間—第6学年「未来をつくるプロジェクト」—	
17	17-1	仲井勝巳 (聖学院大学)	コロナ禍における小学校生活科の実態調査と展望—低学年担任へのインタビューを手がかりに—	渡邊巧 (広島大学)
	17-2	甬仮直樹 (上越教育大学大学院)	生活科における探究的な学びの可能性に関する事例的研究—低学年「探究」領域を実践する教師の語りの分析を通して—	
	17-3	大村龍太郎 (東京学芸大学)	小学校学習指導要領 (平成29年告示) 及び解説「生活編」「総合的な学習の時間編」に対する授業実践者の見方や活用についての事例的考察～三つの国立大学附属小学校勤務教員へのインタビュー調査をもとに～	
	17-4	三堀仁 (環太平洋大学)	教職を目指す学生のための「生活科」「総合的学習」の授業	
18	18-1	○山本銀兵 (竹富町立波照間小中学校) 安永太地 (静岡大学)	小規模校における授業実践の課題と展望—GIGAスクール構想下における遠隔教育実践者に対する意識調査を通して—	

	18-2	松林泰弘 (福山市立千年小学校)	困難な状況に臨機応変に対応する児童の資質能力の育成～「最後の卒業生が紡ぐ 76年間の絆プロジェクト」より～	飛驒直樹 (滑川市教育センター)
	18-3	○鈴木良幸 (設楽町立設楽中学校) 大谷知二 (豊橋市立東部中学校) 原田三朗 (四天王寺大学)	村が育てる子ども～中学生が, ”本気” で働く豊根村の総合的学習～	
	18-4	新垣力嗣 (相模原市立新磯小学校)	地域の伝統を総合的な学習の時間の学びに～相模の大風～	
19	19-1	○須本良夫 (岐阜大学) 森田裕代 (岐阜大学教育学部附属小中学校)	アニマルウェルフェアで学ぶエシカル消費 – 経済動物 (乳牛) のしあわせを考えてみる–	神野幸隆 (香川大学)
	19-2	平松正裕 (松戸市立北部小学校)	持続可能な社会の創り手に求められる資質・能力の育成–関連的な指導による ESD の構成概念の形成過程を通して–	
	19-3	鈴木浩之 (稲城市立向陽台小学校)	SDGs を軸としたカリキュラムマネジメントによる深い学びを実現する総合的な学習の時間の実践	
	19-4	東徹哉 (臼杵市立佐志生小学校)	小学校生活科・総合的な学習における SDGs を行動化する為のへちまたわし教材の開発 (I)	
20	20-1	○井上敦夫 (山形県立山形中央高等学校) 野口徹 (山形大学)	地域の大人との「ナナメの関係」を重視した探究活動–地域版ボードゲーム・カタンの制作と活用を通して–	角田将士 (立命館大学)
	20-2	吉藤徹 (大分県立大分上野丘高等学校)	生徒の探究スキル向上を目指した外部資源活用の提案	
	20-3	○有馬真由美 (山口県立宇部高等学校)	アートマイル協働プロジェクトを活用した探究学習	
	20-4	溝口雄介 (広島県立黒瀬高等学校)	生徒の未来につながる「総合的な探究の時間」の創造–育てたい生徒像に根差したカリキュラム開発–	
21	21-1	○木村光男 (常葉大学) 政二亮介 (富山市立堀川小学校)	問題解決における探究過程の検討–富山市立堀川小学校社会科・総合的な学習の時間「わたしたちのくらしと植物工場」の実践を通じて–	大坪邦子 (平塚市立港小学校)
	21-2	坂口静磨 (熊本大学教育学部附属小学校)	「個」と「集団」の学びが豊かに往還するための表現活動の充実を目指して～第2学年生活科「『くらべる昆虫図鑑』をつくろう!」の実践より～	
	21-3	柳沼麻美 (江戸川区立大杉第二小学校)	主体的に学び, 自己有用感を育む総合的な学習の時間–主に社会科と関連付けた2年間の取組を通して–	

22	22-1	長島康雄（東北学院大学）	探究の過程に着目した総合的な学習の教材開発 ～Eco-DRR の視点から見た「田んぼダム」の意義～	荒木昭人 (相模原市立双葉小学校)
	22-2	中山義之（和歌山市立加太小学校）	自治体・学校間連携を活用した総合的な学習の一考察 - SDGs 推進に係る活動に焦点を当てて -	
	22-3	中村直子（上越教育大学大学院）	情報活用能力と言語能力に焦点を当てた総合的な探究の時間の実践 ～教職大学院の「学校支援プロジェクト」を通して～	
23	23-1	河野大樹（大分県立大分上野丘高等学校）	教師の経験と総合的な探究の時間における目的意識の関係 - GTA 分析を用いて -	岡田了祐 (お茶の水女子大学)
	23-2	○乾明紀（京都橘大学）高野拓樹（京都光華女子大学）	質的調査から見えてきた高校生の探究活動とキャリア展望の関係	
	23-3	廣瀬志保（山梨県総合教育センター）	「総合的な探究の時間」の課題に関する一考察 - 高校教員のアンケート調査を通して -	
	23-4	香田健治（関西福祉科学大学）	生活科における「深い学び」の評価に関する研究 - 「自然や物を使った遊び」での SCAT を用いた質的データ分析 -	
24	24-1	○高井壮（西宮市立北六甲台小学校） 藤本勇二（武庫川女子大学）	北六竹取物語～地域に根ざした教育課程を目指して～	齋藤等 (東京成徳大学)
	24-2	佐藤岬貴（相模原市立大島小学校）	総合学習における協働のあり方～創造しよう 相模原のスポーツ文化の実践を通して～	
	24-3	三星雄大（新潟市立新潟小学校）	地域の課題を受け止め、地域の活性化の意味を捉え直す子どもの育成～4年生総合的な学習の時間 古町スイーツプロジェクトを通して～	
	24-4	大廣誠（相模原市立田名北小学校）	総合的な学習の時間における地域材の有効活用 - 相模川ふれあい科学館 one team プロジェクトの実践を通して -	
25	25-1	鈴木真樹（相模原市立富士見小学校）	web 会議システム等の活用が社会参画の力を促す可能性に関する考察	松井千鶴子 (上越教育大学)
	25-2	菅沼敬介（福岡教育大学）	子供の思いや願いを実現する「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価に関する研究	
	25-3	酒井正恵（浦安市立明海南小学校）	社会参画の意識を高めるプロジェクト型学習 - 評価(assessment)の工夫を通して -	
	25-4	横江信一（石巻専修大学）	高大連携による「総合的な探究の時間」の実践に関する一考察	
26	26-1	齋藤浩平（仙台市立榴岡小学校）	「探究的な学習」を要とし、子供の「深い学び」を実現する指導についての一考察	

	26-2	杉本一生（我孫子市立根戸小学校）	深い学びのカリキュラム・デザイン～教科間の関連に焦点を当てて～	三田大樹 （西東京市教育委員会）
	26-3	橋本智美（福山市立川口小学校）	概念的知識の形成を促す総合的な学習の時間の実践的研究	
	26-4	佐藤梨恵子（朝日町立大谷小学校）野口徹（山形大学）	ひろがる つながる ひかる総合～つながりの中で多様な見方・考え方に触れて視野を広げ、自己の内面に返る総合をめざして～	
27	27-1	杉立耕平（和寒町立和寒小学校）	児童の興味・関心を生かした総合的な学習の時間における課題設定の在り方～高齢者福祉を学習材として～	鎌田明美 （勝浦町立勝浦中学校）
	27-2	三宮明香里（佐伯市立明治小学校）	総合的な学習の時間におけるカイコの飼育と教科学習をつないだ取組～体験活動と表現活動をつなぐことを意識して～	
	27-3	○新谷祐貴（千葉大学教育学部附属小学校）川嶋愛（千葉大学教育学部附属小学校）	総合的な学習の時間における「中庭リフォームプロジェクト」の単元開発	
	27-4	小森恵（相模原市立内出中学校）	総合的な学習の時間の授業改善「内出のこれからをつくる」～持続可能な社会を身の回りからつくりだすことを目指す～の実践から見てきたこと	
28	28-1	石橋裕（東邦音楽大学）	探究的な学習の擬似体験を取り入れた「総合的な学習の時間の指導法」授業の一考察～学生の実態から見える授業科目の意義～	久野弘幸 （中京大学）
	28-2	○米沢崇（広島大学）渡邊巧（広島大学）	教職志望学生の「総合的な学習の時間」をみる力を育成する実践研究	
	28-3	四辻伸吾（大阪大谷大学）	教職志望学生における総合的な学習の時間に対する捉え方の変容について	
	28-4	松田剛史（藤女子大学）	「教職課程学生の単元構想をイベントでブラッシュアップする試み」	
29	29-1	岩崎保之（関西大学）	総合的な学習／探究の時間の活性化に影響する総合推進担当教員の取組	小野間正巳 （関西福祉大学）
	29-2	松本榮次（佛教大学）	地域・福祉学習の教材開発～大学の総合的な学習の時間の指導法における授業実践から～	
	29-3	遠藤晃（南九州大学）	教員養成におけるESDによる総合的な学習の指導力向上	
	29-4	○野崎大輔（兵庫教育大学大学院・兵庫県立千種小学校）溝邊和成（兵庫教育大学）	児童の問いづくりを支援する携帯型カードに関する基礎的調査～総合的な学習の時間の教員研修に焦点化して～	

30	30-1	○畔上一康（信州大学）唐沢真奈（信州大学）	生活科の学びにおける対話性の再考	岡村健太 （九州ルーテル学院大学）
	30-2	大畑健二（信州大学）	総合学習における教師の学びと子どもの学び ～教師と子どもの対話的關係に視点を当てて～	
	30-3	○富山正人（東京学芸大学附属小金井小学校）小幡肇（文教大学）津村優里菜（文教大学）	表現・話し合い活動における子供の見取りと授業づくり	
	30-4	○奥本有彩（早稲田大学大学院）紙本裕一（東京未来大学）鈴木亮太（東京未来大学）	「一人調べ」の学びが、生涯学習・生き方につながる-総合的な学習の時間における話し合い活動を通して-	
31	31-1	○高嶋重行（島本町立第一小学校）谷垣真実（高槻市立玉川小学校）	総合的な学習の時間における探究学習のカリキュラム開発について-組織的課題解決方略による「取り組みにくさ」の克服-	遠田清志 （相模原市立田名北小学校）
	31-2	川口翔平（横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校）	自己調整しながら自己実現力を高めていく子の育成	
	31-3	境野仁（深谷市立豊里小学校）	総合的な学習の時間における予定調和的な授業の問い直しと実践	